

## 専門検討会議事要旨

検討会名	胸腹部臓器の障害認定に関する専門検討会(第1回胸部臓器部会)
日時	平成16年2月26日(金) 14:30~16:30
場所	経済産業省別館共用1038会議室
出席者	(医学専門家) 奥平博一、奥平雅彦、笠貫宏、木村清延、高本眞一、斉藤芳晃 、西村重敬、人見滋樹、横山哲朗 (50音順)  (厚生労働省) 菊入関雄、渡辺輝生、神保裕臣、菊池泰文、児屋野文男、大島充 、関谷要一
主な議題	1 今後の検討項目の現行の取扱いと検討の方向 2 今後の検討の進め方 3 症例検討 4 その他
議事要旨	別紙のとおり

# 胸腹部臓器の障害認定に関する専門検討会(第1回胸部臓器部会)議事要旨

(当部会の座長については、横山先生を選出し、副座長については奥平雅彦先生を選出した)

## 1 今後の検討項目の現行の取扱いと検討の方向

- ・ 資料1の内容は、胸部臓器部会において、妥当な検討の目的、検討の方向性である。
- ・ 現行の基準において問題となっている部分を取り上げ、集中的に検討を行うこと
- ・ 基本的な方向性として、現行の抽象的な基準を明確化するために、各臓器毎に客観的な基準を作ることとする
- ・ 客観的に障害を評価する基準を作るには検査数値によるものが妥当であるが、日常生活動作の程度との整合性を勘案したものとすべきであること
- ・ 障害認定における治ゆの概念について、整理すること

## 2 今後の検討の進め方

- ・ 当部会の検討を効率良く進めるため、循環器の検討を優先的に行うこととし、循環器の検討を終えた後、呼吸器の検討を行うこと
- ・ 各検討項目の専門領域の参集者が素案及び問題点を提起した資料を事務局に提出し、事務局が文章の形にした案を部会で検討していくこととした
- ・ また、循環器については、次回までに参集者が案を作成し、事務局に提出することとした。

## 3 症例検討

(個人に関する情報を保護する必要があるため非公開)